

「歌で伝えたいこと」校長講話から

10月7日(水)

10月23日(金)の音楽会に向けて、特別時間割が始まりました。体育館や音楽室では、毎時間それぞれの学年や学級の歌声や合奏が響き渡っています。7日の校長講話では、校長先生から音楽会に向けた話がありました。

校長先生ははじめに、『手のひらを太陽に』の曲をハーモニカで演奏しました。この曲の作詞はやなせたかしさん。アンパンマンの生みの親です。次にアンパンマンの曲を演奏しました。一緒に歌を歌ってくれた友達もたくさんいました。

何のために生まれて 何をして生きるのか
答えられないなんて そんなのは嫌だ
今を生きることで 熱い心燃える
だから君は行くんだ 微笑んで
そうだ！うれしいんだ 生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも
嗚呼アンパンマン 優しい君は
行け！みんなの夢守る為



歌には伝えたいことがある。
歌には伝える力がある。
きっと伝える。必ず伝わる。

やなせさんは、アンパンマンの歌を通して生きることへのメッセージを伝えようとしています。それは青春時代の恐ろしくも悲しい体験がもとになっているのです。やなせさんは青春時代軍隊に入り、辛い恐ろしい体験をしました。大切な弟も戦争で亡くしてしまいます。こうした体験から、本当の正義とは戦争することではなく、献身と愛だということを確認したのです。

アンパンマンは弱いものを救うために頑張ります。困った人がいれば自分を食べてもらい、おいしいと言ってくれることを何よりも喜びます。やなせさんも、みんなが楽しんで喜んでくれることが何よりもうれしい。そうした自分の思いをアンパンマンによって伝えようとしているのです。やなせさんは東日本大震災の後、3本の映画を製作しました。アンパンマンを通して愛と勇気を届け、被災地の子ども達を元気付けようと活動しました。多くの方がアンパンマンによって生きる勇気をもらったと話題になりました。

『歌には伝えたいことがある。歌には伝える力がある。きっと伝える。必ず伝わる。』のです。音楽会では、ただ歌うのではなく、歌を通してみなさんの明るさや元気さ、楽しさ、うれしさを、あんずホールに来てくださる家族や地域の方々、他の学年の人たちに伝えて欲しいと思います。

宮坂君江先生にご指導していただきました 10/9

屋代小学校では歌唱力の向上を目指し、外部講師の方に専門的な指導をしていただいています。今年も昨年に引き続き宮坂君江先生（文化学園長野専門学校 副校長）に教えていただきました。宮坂先生のエネルギッシュな動作や言葉は、子ども達をすぐに歌の世界に引き込んでいきます。子ども達はいつの間にか笑顔でいっぱいになり、「あれ、あの子が。この子も…」というように、魔法にかかったように表情が変わってきます。わずかな時間でしたが、歌うことの楽しさを実感できた時間でした。音楽会に向けてとてもいい学習ができました。



楽しかった修学旅行 思い出がたくさんできました 9/30・10/1

6年生が修学旅行に行って来ました。一人の欠席もなく、全員で参加することができました。素晴らしいことです。修学旅行の心得として『絶対に決まりを守る 人にめいわくをかけない 思いやりのきもちで助け合う みんなで楽しむ』の4つを掲げ、皆で良い思い出を作ろうと事前学習を積んできました。子ども達はその心得を意識し、笑顔いっぱい大満足の旅行ができたようです。いろいろな場面でいろいろな子ども達が協力し合う素敵な姿を見ることができ、担任も感動していました。生涯忘れることのできない思い出になったことでしょう。

修学旅行を通して、6年生は一回り大きくなったような気がします。6年生にとっては一つの活動が最後になっていきます。クラスの仲間と、先生と過ごす時間を大切に、あと半年となった小学校生活を充実させていって欲しいです。



道路を横断するときは左右の安全確認を！！

信号が青であっても、道路を渡るときは右・左・右をよく見て、車が来ないことを確かめてから、横断するようにしましょう。

